

## 初めて1番 胸いっぱい

4月24日に東京・江東区の東京ビッグサイトで行われた第1回関東甲信越高校生溶接コンクールで、下館工業高校機械科3年の仁平菜月さん(17)が最優秀賞に輝いた。

### 下館工・仁平さん最優秀賞

コンクールは東部地区溶接協会連絡会が主催し、関東甲信越10都県から22人の高校生が出場し、被覆アーク溶接の技術を競った。本県からは県溶接協会の推薦で仁平さんと同校機械科3年、中里直樹君(18)が出場。中里君は入賞を逃した。2人は高校1年の時に機械科の授業で溶接を学んだ。仁平さんは1、2年生の夏休みには県筑西産業技術専門学院で溶接を学ぶほどの熱心さ。今年1月末にコンクール出場が決まり、2人は土曜のほか春休みも返上

### 関東甲信越高校生「次は技能五輪」 溶接コンクール

し、地元企業の協力も得てコンクールに向けて練習を重ねてきた。最優秀賞の仁平さんは「夢のよき。今まで1番を取ったことがなかった。チャンスをもらい、いろんな人に支えられて胸がいっぱい」と語る。技能五輪にも挑戦し、将来は人にしかできないものづくりの技術者を目指すという。中里君は「開会式の後、すぐに実技が始まり、緊張で指が震えた」と語る。コンクール出場を励みにして夢はモータースポーツのメカニックという。(高橋正樹)



最優秀賞に輝いた仁平菜月さん(右)と中里直樹君=下館工高

機械科3年A組  
仁平菜月  
新聞掲載記事